

# M. Gabriel at MEIJI U

マルクス・ガブリエル教授明治大学講演 2018  
現代のカテゴリー問題とヘーゲル

日時 2018年6月17日(日)  
17:00 ~ (開場 16:30~)

会場 明治大学駿河台キャンパス  
リバティタワー1F リバティホール

定員 300名、無料、通訳あり、予約不要

共催 明治大学情報コミュニケーション学部 / 明治大学人文科学研究所総合研究第2種「暴力の表象空間」 / NPO 法人国立人文研究所  
問い合わせ先 明治大学 宮本真也

[infocom@mics.meiji.ac.jp](mailto:infocom@mics.meiji.ac.jp)

## マルクス・ガブリエルは ヘーゲルについて何を語るのか

『神話・狂気・哄笑』、『なぜ世界は存在しないのか』で、ドイツ観念論のアクチュアリティを明らかにしてきたマルクス・ガブリエル。シェリングを高く評価する彼は、むしろヘーゲルについては批判的な態度を示してきました。彼はヘーゲル哲学の有効性をもはや認めず、彼の評価するドイツ観念論にヘーゲルの場所はないのでしょうか。

本講演では、〈カテゴリー論〉という伝統的問題の現代的論点を取り上げながら、ヘーゲル哲学のアクチュアリティを批判的に検討します。同時に分析哲学におけるヘーゲル・ルネッサンスの問題点を明らかにし、ガブリエルの哲学的立場が示されることになるでしょう。

 明治大学

